

米商進路だより

令和5年11月6日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第23号）

《 商業のプロフェッショナル 》

3年生は、11月より学校推薦型の試験が本格化します。受験に関する出願はインターネットが主流となり、必要事項を記入し受験料をコンビニエンスストア等で支払いを完了してから次のステージに行くことができるようなシステムです。顔写真も電子データで添付するところもあります。令和7年度の大学入学共通テストの申込はインターネット出願に変更されることが決定しておりDX化が加速いたします。

さて、3年生の学校推薦型で大学・短大を受験する人たちの模擬面接が行われました。志望動機（なぜ本校なのか???）、将来の自分のあるべき自分の姿、在学中にチャレンジしたいこと等、質問事項について、一つ一つに丁寧に具体的に答えることで合格を掴み取ることができると思っています。緊張の中にも練習の成果を発揮できる人、課題が見つかった人、本番に向けて緊張感を保つことができました。

先月末から令和6年1月にある全商検定試験の申込が始まりました。3年生は検定試験の総決算であり志を高く持って試験に臨んでほしいと思っています。学習において、“習うより慣れろ”という言葉聞いたことがあると思いますが、演習問題を数多く解くことで、実力を養成できるのです。過去問題の演習をすることで、傾向を把握し、挑戦する気持ちを維持して検定試験に臨んでください。



進学希望者 模擬面接（1人15分程度）

《 全商・日商検定試験 》

期日	曜日	試験名	申込期日
1月21日	日	情報処理検定	10月23日（月）～11月6日（月）
1月28日	日	簿記実務検定	10月26日（木）～11月10日（金）
2月4日	日	商業経済検定	11月6日（月）～11月20日（月）
2月25日	日	日商簿記検定	1月10日（火）～1月26日（金）

県名	3種目	4種目	5種目	6種目	7種目	8種目	9種目	合計
山形県	92(11)	63(5)	20(1)	5	3	2	0	185

上記は昨年度の山形県の全商1級3種目以上の合格者です。カッコ内は本校生徒の数値であり、昨年度を上回る1級取得者が輩出できる結果に繋がることを願っています。ただし、申込をしないと挑戦することもできません。急ぎましょう！！

《 2年生 進路ガイダンス 》

令和5年10月31日付の山形新聞に9月末現在の県内の就職内定率の発表がありました。64.5%という数字は昨年度よりも下がっているのですが、就職試験解禁日の9月16日が土曜日であり統計調査の期間が短くなったためと分析しています。高校生の求人倍率は4.35倍と過去最高であり、高校生有利の売り手市場が続いています。業種別では、製造業・卸小売業が増加となっているのが現状です。

令和5年11月28日（火）に2年生を対象にした就職実現セミナー（企業説明会）が実施されます。置賜地区管内の企業の仕事を知ることがを目的に、例年11月に開催しており、60社程度の企業が参加予定です。現在の2年生は43名の参加希望があり企業の仕事内容を聞くことになっていて、来年度の就職内定に繋がるための一助になるような時間になることを期待しています。

また、同日に進学希望者は大学・短大・専門学校の説明を聞く時間を確保しました。進学はしたいと思っているが、自分が何をしたいのか分からないという人がいるのも事実です。興味関心がある分野だけでなく、進学するとどんな資格を取得でき、卒業は何処に就職しているのかを知ることがも研究してください。学費も含めて志望校調査をすることも進路決定には大事なことです。

【2年生の進路希望（4月時点）】

大学	短大	専門学校	県内	県外	公務員	未定	合計
7	5	27	29	10	1	1	80

1	千葉商科大学	9	山形医療技術専門学校
2	東北学院大学	10	三友堂看護専門学校
3	福島学院大学	11	福島看護専門学校
4	東北芸術工科大学	12	大原学園専門学校山形校
5	東北公益文科大学	13	山形調理師専門学校
6	山形県立米沢女子短期大学	14	山形美容専門学校
7	東北文教大学短期大学部	15	山形歯科専門学校
8	仙台青葉学院短期大学		

《 私の高校時代 No4 》

高校3年生のとき特になりたい職業もなかった私は、大学受験そして祖父の薦めもあり公務員試験の2つを受けることにした。当初、公務員試験は受けるつもりはなく片手間に勉強した結果、案の定1次試験で落ちた。軽い気持ちで受けては受からないし準備は大切だということを学んだ。

勉強に関しては理科や数学が好きで得意だったため、理工系の大学に進もうと思った。国語と英語は本当に苦手（下からの数えた方が早い成績）で苦労した。しかし今振り返ると、得意分野あったからこそ大学に合格できたのかなと思う。苦手はないに越したことはないが、それ以上に好きな事、得意分野があるというのはその人にとっては強みだと思う。